

(9) 5大学による教育連携

5大学連携教育シンポジウムは、愛媛大学、群馬大学、徳島大学、山形大学、熊本大学の教育連携プログラムである。当初、全学のシンポジウムとして行われていたが、現在は、毎年、各大学持ち回りで工学教育シンポジウムとして開催している。H25年度は、群馬大学で9月26・27日に開催された。熊本大学からは、教員として、和田健志(数理)と小塚敏之(マテリアル)の2名のFD委員と数理工学科の2名の学生が参加した。

2013年5大学連携教育シンポジウム出張報告

日時:2013年9月26日(木)午後3時~27日(金)午後3時

場所:群馬大学理工学部(桐生市)

<プログラムと内容>

26日午後:

学部長挨拶

学生による発表「大学生生活を通じて自分が得たもの」

自由なテーマで、留学体験やコンテスト参加、為になった実習等の経験が、各大学の学生から発表されていた。

懇親会:生協 教員3000円 学生1000円(受付時に徴収)

学部長挨拶

27日午前:テーマシンポジウム:今回は「大学のグローバル化」

シンポジウムでは毎回、主催校が決定したテーマに対する講演と討論が行われている。今回は、「大学のグローバル化」というテーマで各大学から、講演が行われた。また、各大学の発表の他に東健一氏(株式会社アルク教育社)による基調講演があった。

昼食会

参加大学の教員によるランチミーティングを行い、次年度の開催校や報告集作成等を決定し、簡単な引継を行った。H26年度は、熊本大学工学部が当番校として、熊本大学でシンポジウムを開催することが確認された。

午後:学生だけのセッション「グローバル化・基礎教育」

午後のセッションは、学生と教員に別れて、ブレインストーミングが行われた。学生セッションでは、どのような講義実習を求めるか、教員に対して何を期待するかという議題で行われた。司会は主催校の学生が行い、ある程度意見をまとめる、最後に教員も含めた全体セッションで、学生セッションのまとめを報告してもらい、さらにそれに基づいて討論を行った。

午後:教員だけのセッション「基礎教育(取組・問題提起)」

教員だけのセッションでは、各校でのFD関連取り組みの紹介と質疑討論が行われた。